自動生成一加工



自動生成一加工では、材の端部、長さ、形状を決定します。

- 1 〔自動生成 加工〕をクリックします。
- ② 「加工自動生成」の画面が表示されますので、「OK」をクリックします。

※ 加工機 I / F が設定されていない場合は、「手加工」が表示されます。

設定されている場合は、加工機メーカー名が表示されます。

·材番号生成

新規:材番号を新規で作成します。

追加:材番号を既存でついている番号から追加で作成します。

・加工機

手加工(同一形状同一番号):樹種、等級、型式、材長、加工形状などが同じ材は、 同一材番号が生成されます。

手加工(加工機対応材番号):同一形状をまとめずに材1本毎に材番号が生成され ます。加工機I/Fのデータ出力時と同じ番号生成 方法です。

1

自動生成一加工

- ・木取り:〔補助-マスター編集〕の「木取マスター」で登録した木取テーブルを選択します。
 - ※〔自動生成 加工〕で実行した木取り結果は、〔積算 木材積算編集〕の「材 加工」で確認できます。
- ・加工グループ:加工対象の材のみ加工データを出力します。

〔補助 – マスター編集〕の「加工グループマスター」で設定した加工グループを選択します。

・加工対象:「加工グループ」を選択した場合に、有効になります。

〔補助 - マスター編集〕の「加工グループマスター」の加工グループ内に設定された 加工対象を選択します。

- ③ 加工生成が終了し、「加工生成終了」の画面が表示されますので、「OK」をクリックします。 エラーがある場合は、メッセージが表示されます。
 - ※ エラー項目を選択しダブルクリックすると、エラー箇所を表示します。

エラー箇所を修正した場合は、再度〔自動生成ー加工〕を実行してください。